

「暮らしの安全モデル校指定事業」事業実施報告書

モデル校指定校名 : 岐阜市立長良中学校

1. 事業の実施期間 平成29年5月1日から平成30年3月26日

2. 学校の概要

学校名	岐阜市立長良中学校
学級数	通常学級：11学級 特別支援学級：2学級
児童生徒数	全児童数：375人（平成29年3月14日現在）
URL	http://cms.gifu-gif.ed.jp/nagara-j/

3. 調査研究のテーマ

(1) 調査研究のテーマ

内容「D身近な消費生活と環境」において、身近な消費生活や環境をよりよくしようと工夫する能力を育成するための指導と評価の研究開発

(2) 調査研究のテーマを設定した背景

本校は、「『生活をきり拓く力』を育てる学習指導」を研究主題に掲げ、研究を進めている。「生活をきり拓く力」を育てていく上で、技術・家庭科が担う役割は、「生活を工夫し創造する力」を身に付けていくことと捉え、生徒が実践的・体験的な活動を通して、自分の家庭生活とつなげて考えることを大切にしたい指導を積み重ねてきた。

しかし、生徒の実態に目を向けてみると、学習を通して身に付けた知識・技能が家庭において生かされているかという点、十分ではない。特に、様々な物や情報があふれる社会の中で、本当に必要かどうかを判断できなかつたり、情報に左右されたりして、不要なものを購入する姿がある。だからこそ、インターネットによるトラブルや悪質な売買など、様々な問題が生じており、自らの消費生活の在り方を見直す必要がある。また、私たち消費者を取り巻く問題は、先に挙げた問題だけでなく、ごみ問題やエネルギー問題など、多岐に渡っている。

そこで、これからの社会の中を生きていく生徒に、一人の消費者としての自覚をもち、自ら主体的に行動して課題を解決し、よりよい生活をつくり出す力を身に付けていきたいと考えた。生徒は小学校における家庭科の学習で、商品の適切な選び方や金銭の使い方について学習をしている。中学校では、小学校で身に付けた力を基に、環境の視点も踏まえながらよりよい消費生活を営もうとする生徒の姿を目指したい。そのために、身近な消費生活の中にある無駄や問題点に気付くことができるような学習活動を計画し、それらを解決していくことを通して、身近な消費生活や環境をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育みたいと考え、テーマを設定した。

4. 調査研究の内容等

(1) 調査研究の内容・実施計画

①調査研究の内容

- ・「D身近な消費生活と環境」に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、家庭実践へとつなげる題材の工夫

- ・身近な消費生活と環境とのつながりを実感し、家庭実践へとつなげる題材指導計画の作成

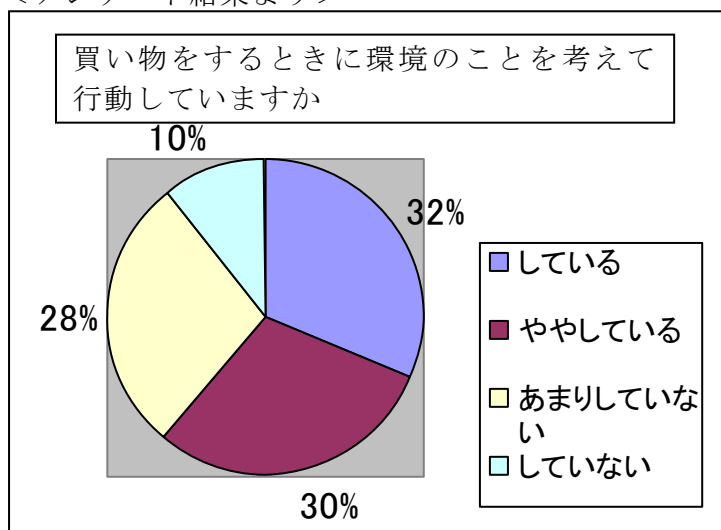
時 期	内 容	備 考
6月29日	第1回中学校技術・家庭科研究会開催 グループ別討議 ・研究の方向性について確認 ・指導画等について協議・検討	参加者8人
7月31日 9月	長良川学園 長良中・長良西小合同研究部会 質問紙による意識調査の実施と分析	
11月2日	研究授業の公開 長良中学校研究発表会 ・内容「D身近な消費生活と環境」の授業実践 ・身近な消費生活や環境に関する思考力・判断力・表現力等を育むための問題解決的な学習の実践 ・学んだことと生活とのつながりを実感できる評価と指導・援助の工夫	
11月10日	東海北陸福井大会への参加	福井県
2月8日	中学校技術・家庭科研究会開催 グループ別討議	参加者7人
2月28日	中学校技術・家庭科研究会開催 グループ別討議 研究の成果と課題のまとめ	参加者7人
11月～ 3月23日	教材を活用した授業実践	

(2) 調査研究の成果と課題

①成果

- ・題材の導入時に、生活の中から問題を見つける活動を行ったり、それを近年問題になっている環境問題などに関連させて考えたりするなど、問題解決的な学習の充実により、課題を設定し、解決していく学び方を身に付けるとともに、生活と結びつけながら考えることができた。
- ・身近な消費生活について、金銭面など自分のことだけを考えて買い物をするのではなく、環境によい商品を選ぼうとするなど、一人の消費者としての自覚をもって生活しようとする意識を高めることができた。

<アンケート結果より>



授業後に行ったアンケート結果である。「買い物をするときに環境のことを考えて行動していますか」という質問に対して、授業前は「している」と「ややしている」と回答した生徒が合わせて25%であったが、授業後は62%へと増加している。このことから、一人の消費者としての自覚をもち、自らよりよい生活をつくり出していこうとする子どもの姿を生み出すことができたと考える。

②課題

- ・導入時で生活と結びつけながら課題をもたせることはできたが，その意識を継続させ，常に必然をもった授業を展開できるよう指導の改善を図る必要がある。
- ・家庭実践をさらに大切にし，生活に根差した指導をめざす。

6. 連絡担当者

所属・役職	岐阜市立長良中学校 教諭
氏名	西 杏子
電話番号	058-231-7207
FAX番号	058-231-7208
E-mailアドレス	gichu07@nagara-j.gifu-gif.ed.jp